令和 4年度 事務事業名

策

体

系

予算科目

総合計画の施策名

政策名

施策名

手段名

会計 款 事務事業評価表(令和 3年度 の実績評価)

記入年月日 令和 月 事業区分 継続 事務事業No. 020101000398 単独 090201 所属課 桜川学校給食センタ-課長名グループ 学校給食グループ 担当者名

(平成17 年度~)

01 10 01 04 02 00 学校給食センター事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 学校給食法、学校給食衛生管理基準、桜川市立学校給食センター条例、桜川市立学校給食センター管理規則、桜川市立学校給食センタ -運営規則、桜川市学校等給食費徴収規則、桜川市第2子以降学校給食費免除実施要項

一般会計

事務事業の現状把握(その1) (D_0)

(1)事務事業の概要

①事務事業の概要(事務事業の全体像)

・学校給食センターの業務を円滑に運営し、文部科学省「学校給食衛生管理基準」に沿って、児童・生徒の心身の健全な発達のためのバランスの取れた安 心・安全な給食の提供を行っている。

学校給食センター運営事業

01 学校教育の充実

目 事業

01 ①教育内容の充実

財務会計上の位置付け

0201

政策体系上の位置付け

学校教育の充実

02 生きがいを育む学びのまちづくり

細

- ・学校給食センターは平成25年9月1日から供用開始、平成30年4月1日か ら南学校給食センターと統合し、全校(小学校8校、中学校4校、義務教育学 |校1校)へ給食を提供している。
 - ・調理業務及び配送業務は民間委託している。
 - 給食原材料は保護者負担(給食費月額 児童3,900円、生徒等4,300円)、 施設運営及び維持管理費等は市で負担。

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

単年度繰返し

• 令和3年度給食実施回数186回

新規/継続

単独/補助

丵 誀

- ・ 必要物品の購入及び支払い。光熱水費支払い。
- ・給食費徴収のために受給人員表等に基づき、学校給食費調定額通知書 を作成し、学校長へ通知。
- ・給食費収入票に基づき、給食費徴収簿への記帳。
- ・第2子以降学校給食費免除に係る状況確認。
- ュアルに基づき、食物アレルギー対応の実施。
- ・調理及び配送業務委託業者の監督。
- ・保菌検査・ノロウィルス検査。 ・新型コロナウイルス感染症対応(休校に伴う発注済食材料の調整、給

	食費徴収額の調整等)													
(2)	事務哥	事業の手段・対象	・意図と各指	票、指標値の推									
(D手段	手段 (担当者の活動内容)			④活動指標	④活動指標 (活動量を表す指標)			単位	O2年度 (実績)	03年度 (実績)	O4年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
当抗体会力に力 の世界を口に同学!					小中学校•義務教育学校数				校	14.0	13.00	13.00	13.00	13.00
学校給食センターの業務を円滑に運営し、 児童・生徒の心身の健全な発達のためのバ ランスの取れた安心・安全な給食を提供す				給食提供日数	給食提供日数				179.0	186.00	198.00	198.00	198.00	
る。また、そのための施設運営管理に必要 な物品購入・委託契約・給食費徴収。										0.0	0.00	0.00	0.00	0,00
′0	.1////////	一		:貝以水。						0.0	O.OO	0.00	0.00	0.00
C	対象 (誰、何を対象にしているのか)			⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)				単位	O2年度 (実績)	03年度 (実績)	O4年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
					給食受給児童	給食受給児童生徒数				2,787.0	2,730.00	2,566.00	2,485.00	2,369.00
給食提供対象校の児童生徒									0.0	O.OO	0.00	0.00	0.00	
										0.0	O.OO	0.00	0.00	0.00
(3	意区		この事業によって対 るのか)	対象をどう変え かんしゅう	⑥成果指標	⑥成果指標 (対象における意図の達成度 を表す指標)			単位	O2年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
					小学校体力テストA及びBの割合(R2 実施なし)			%	0.0	60.47	61.00	62.00	63.00	
			通して、学力・心 が育つ	• 体の調和の	中学校体力ラ	中学校体力テストA及びBの割合(R2 実施なし)				0.0	63.21	64.00	65.00	66.00
										0.0	O.OO	0.00	0.00	0.00
((3)	3) 投入量(事業費)の推移			02年度				04年度		05年度	06年度		間限定
		国庫支出金			(実績)	0	(実績)		(計画)	0	(目標)	(目標)) fi	総投入量
		財	県支出金	千円		0	0			0				
投	事	源 地方債内 使用料・手数料		千円		0	0			0				
	業費				4474	0	0		70	0 5,038				
入		ā/\	R その他 千円 一般財源 千円		117,194 88,881 167,399 185,464					5,120				
	1 ⊦	9	業費計(A)				292,158							
					6	6.00人								
量														
	10	10 需用費 165,383 0)7 報償費		39			
事	11 役務費 955								用費		181,952			
学業	12	委託		103,136					と 務費		1,094			
費	13	13 使用料及び賃借料 2,543 17 備品購入費 1,516							三託料	フド信用か	106,359			
σ	21		品購入費 1,516 13 償補填及び賠償金 812				1319	と用料が	び賃借料	2,714				
内		r用i貝1	明点区の記憶中	012										
訳	-													
												_		
					合言	合 計 2 ⁻						合	計	292,158

_	±25±14 A	224±4/A	△1-5 - Þ	/E/X = //		+26+	NI/A I	0010100000			
(事務事業名		<u>食センター</u> っかけけ		で関か	事務事		20101000398	所属課 桜川学校給食セン		
(り変わったのか? 校給食センターが建設された。平		
									校統合等を経て、現在全ての市立		
	小中学校·義務教										
1											
	C\		* / ! • !	=	7.15	1005 to 101 to	** C \ + = +	-0 + *ch > 6 - 7 \ 7 + \			
(書関係者) からどんな					
	子校紀艮は、桜川	中の木米を	ロフナ供に	りの健王育成に入り	ハルゴ	対立つので、これから	七女心女王	こでのいしい結長の掟	共を期付している。		
Ļ											
	See】 2. 評価の	の部 *	原則は事前	評価。		=	_				
	①政策体系との整	ダ 合性 (πα	事務事業の	日的け市の政策体系に	一幺±7ド	評価項 [つくか?意図することか	は単に結び	(ついているかり)			
	① 政衆体派 この 豆										
現	結びついている		チともたち び付く。	に宋養バランスの	とれた	に給食を提供すること	こより健康	の増進及び体力の同	上に寄与しているため、政策体系に結		
状											
維持	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)										
持											
	<u> </u>										
	図 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)										
			VI+66 * :								
	向上余地がなり	\ <u>\</u>	学校給食セ	ンターの主な業務で	である	5安心安全かつ栄養の	バランスの)とれた給食を提供し	ており、向上余地がない。		
	(4)廃止・休止の成	世への影響	(重級重型	学を廃止 • 休止した#	全の国	影響の有無とその内容は	2)				
有	サルエ・ドエのル	大木への影音	(争物争を	来る光正・小正 ひに城	ロロリ界	で音の自無しての内合は	: /				
効	影響有	<u> </u>	学校給食は	学校教育活動の一	景であ	るため、本事業を廃り	上した場合	おは教育課程に大きな	影響が生じる。		
性	影響有 学校給食は学校教育活動の一環であるため、本事業を廃止した場合は教育課程に大きな影響が生じる。										
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む))										
	(他に手段があ	る場合)	具体的な手	段、事務事業名							
	余地がない		南学校給食	ヤンターと統合し	たため)、他に類似事業はなり	/) _a				
	会にある。 会性がない										
効	⑥事業費・人件費	りの削除余地	(成果を下	げずに事業費を削り	除でき	をないか?やり方を工	夫して延^	(業務事業を削減でき	ないか?)		
率	ツルボクサルがたい	削減余地がない 必要最小限の事業費で運営している。現在以上の削減は直接給食の質の低下につながるため難しい。									
性	削減余地がなり	<u>/ </u>	心安取小阪	の争乗負で連名し	CNIC)。現任以上の削減は	旦按和良()	質の低下にしなかる	こめ)実在してい。		
	⑦ 受益機会・費用	 ⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)									
公平											
性	公正・公平で	ある !	是供対象校	の子どもたちに安	全安心	≧な給食を提供するため	めの事業を	で、受益機会・費	用負担とも公正・公平である。		
		(対田の公代)	- 今 後の方	点性 (为生度)表面	レマ管						
_		としての評価		向性(次年度計画と	_ 丁异	(2) 全体総括(振り返り.	反省占)			
		CO C07011100							営がされている。施設設備の不具合箇		
	O	適切		見直し余地あり				後も安心安全な給食を	提供するため、円滑な運営ができるよ		
	<u>_</u>	適切		見直し余地あり		う体制を維持してい		と組むし トル 赤月山かたまま	☆ とちったが、 公舎原止め 再開に伴る		
	③効率性	■適切	_	見直し余地あり				2音により変則的な対 5体制を整えた上で給	応となったが、給食停止や再開に伴う 食を提供した。		
	④公平性I	適切		見直し余地あり		からつ うじみびフエ	J.64 16.	> 14-400 GTE\(()CT_ C\()()	- CALIN O/C0		
(3	3) 今後の事業の7	方向性				<u> </u>			(1) 功量,功学による物件。		
						(複数回答可)			─ (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)		
1	□終了	■継続	□ 改革	改善を行う				効率性の改善			
		¬ /+ ₁-	■ TE,IL	·	F			公平性の改善	コスト		
1	□ 廃止 [□休止	■ 現状	世祖师.] 統廃合ができる	Ш	連携ができる			
(5) 改革,改善	を実現する上	で解決すり	べき課題(壁)とそ	の解	 決策					
	,			,,					成維		
								米 17			
1									低		
								(6)事務事業優先度評価総			
									成果優先度評価結果 ⑤		
Ļ	0	=======================================	541-2··	- a 161					水木度ル東部 脚和木		
_		認及び改革改	双善に向け	ての指摘事項		(2) 部長確認	及び評価	(調度証価により	C、D判定及び確認が必要な場合)		
							WIXO 941M	「林文計画にみり、	し、し刊に以口唯誠が必安は場合)		
	課長確認後の評価					確認欄					
		続(現状維持		C:終了、廃止、							
	I '` B:線線	続(改革改善	を行う)	D:2次評価へ指	14.						